

有限会社 からくり企画

認定テーマ名：体験型脳活性化を促す「からくりパズル」販売事業

1. 認定を目指した経緯

小田原・箱根地域では、江戸末期より組木や秘密箱などの土産物の生産が盛んで、40年以上前から秘密箱を原点とした「からくり箱」が開発されてきた。しかしながら、当該地域もアジア諸国からの安価な商品の流入や海外への生産拠点の移行等により生産規模が縮小しつつある。同社と地域の職人が結集した『からくり創作研究会』は、からくりパズルを活用して観光ツアーやデパート等での展示会の開催を通じ、団塊の世代以降の客層に冗談やユーモアが含まれた作品をアピールすることで、同社と地域産業に大きな経済波及効果をもたらされると考え、認定を目指すことにした。

2. 認定事業の現況

有限会社からくり企画は、地域の職人12名が結集した『からくり創作研究会』と連携し、地域の伝統産業資産である「小田原木製品」に関する振興事業を実施してきた。本事業では、平成20年度より5年間に亘り、「小田原木製品」のひとつである「からくり細工」の「ちょっと考える」という特長を活かして、新たな視点で地域内外に定着する技術、商品の普及を目的として地域企業・施設等と連携した、

- ①「脳活性化ツアー」
- ②「からくりパズルフェスタ」
- ③「国際パズル会議」

を主要事業として取り組んできた。

現在では、主に「からくりパズルフェスタ」等の地域イベントの企画・開催・運営と、首都圏百貨店催事への提案・出展等の2つの事業に取り組み、地域ブランド力向上、流入客および売上増加等の成果を上げている。

(1) からくりパズルフェスタ等の地域イベントの企画・開催・運営事業



からくりパズルフェスタのポスター

当事業は、多くの地域住民・観光客に、からくりパズルに触れてもらい、地域資源としての「からくりパズル」のイメージ定着につながるイベントを小田原・箱根、および周辺自治体2市8町で開催していくものである。具体的には、平成20年度の首都圏、横浜地域の観光客を対象にした脳活性化観光ツアーの企画・開催に始まり、平成21年度には「からくりパズルフェスタ」の内容に

「からくりパズル工作教室」、「アイデア・コンテスト」「スタンプラリー」等の要素を盛り込みながら、内容の充実を図っている。

① 脳活性化ツアー

団塊世代の「遊び」と「若返り（健康）」ニーズに向けた、地域ならではのパズルを体験してもらうツアーは、箱根地域への観光価値を押し上げる成果が出てきた。

② アイデア・コンテスト

からくりパズルフェスタ参加者を対象に、からくりパズルに関するアイデア・コンテストを実施し、入選作品を箱根の「彫刻の森美術館」において展示・人気投票を行うものである。応募者数も、平成 21 年度は 128 名であったが、平成 24 年度には 800 名近くになっており、毎年増えつつある。同美術館にて集客数の多い施設で表彰式も行うため、全国から箱根に集まる観光客を取り込むことに大きく貢献している。



寄木細工のコーヒーカップ



新しい創作秘密箱



製造風景と亀井社長

③ からくりパズル工作教室

地域住民や観光客を対象に、からくりパズルフェスタ期間中、毎年新しい工作キットの開発・提案をしながら職人とお客さんが直接触れ合う機会が持てるようにしている。平成 24 年度は様々な種類の工作教室を 21 回も開催した。参加者（親子連れが中心）も、平成 21 年度の 430 名から平成 24 年度には 800 名近くへとほぼ倍増しており、地域産業の担い手の育成につながることを期待している。また、平成 24 年度は「大人のための工作教室」と銘打ち、イベント期間外でも触れ合えるようにした。

④ スタンプラリー

地域の土産物店・施設等を拠点（将来は 20 施設程度を予定）として実施している。参加者がより参加し易い催事にするために、関係作りが進んでいる土産物店、ホテル、各施設との協力関係を軸に、毎年趣向を変えながら実施している。

⑤ 国際パズル会議

毎年世界各地で開催されている国際パズル会議（参加者約 300 名）を平成 22 年に箱根で開催した。世界各国からパズルファンや関係者が参加するこの会議では、新人の職人の自作展示品のお披露目を兼ねており、職人達が直接、世界の反応を聞くことができるため、職人育成の大きな原動力になっている。近年では、有限会社からくり企画も自主開催の形で「からくりパズル」に興味を持った方々に向けて同様のイベントを開催している。

（2）首都圏百貨店催事への提案・出展

これまでに三度、東京インターナショナルギフトショーに出展してきたことで、様々な業種のバイヤーや企業の方々への PR が出来、同社の商品のバリエーションの豊かさが高い評価を得て

いる。新商品を開発する際、通常は中身が同じでデザインのみを変更してバリエーションを増やすのが一般的だが、同社の商品は、デザインが異なれば中身（仕掛け）も異なり、これが同社の大きな強みになっている。こうした活動が首都圏地域の百貨店バイヤーからの引き合いにつながり、結果的に、職人展、産地展等の展示販売イベントへの定期出展で成果を挙げている。

具体的には、株式会社松屋、株式会社東武百貨店等の百貨店展示・販売イベントの他、株式会社東急ハンズ等の専門店での催事販売等で1回あたり100～200万円近い売上成果を挙げている。

3. 今後の展望（見通し）

これまで、新たな視点・切り口を加えながら「地域伝統産業の魅力訴求」をテーマに活動してきており、今後も継続していく予定である。幸いにも、地元には明日を託せる優秀なからくり職人が育ちつつあるので、商品の可愛さ、可笑しさ、癒し等の要素を取り込みながら地域への集客力向上、地域価値向上に繋げていきたい。

4. 利用した中小機構の支援策

認定後、中小機構主催の交流会に参加し、神奈川県内外の認定事業者とのネットワークを拡げ、販路の相互紹介やイベントの相互乗り入れ等の成果につなげることができた。また、中小機構が後援した百貨店主催の展示会に出展し、首都圏ユーザーへの企業PRの機会を得た。

認定を得たことによる様々な効果のうち、特に大きかったのは、地元の小田原、箱根地域内での認知度、理解度が上がったことである。また、雇用する職人も、認定前と比較して3名も増やすことが出来た。

5. 企業概要

事業者名	有限会社 からくり企画		
本社所在地	神奈川県小田原市城山2丁目18番10号		
ホームページアドレス	http://www.karakuri.gr.jp/creation/index-j.htm		
設立年月	平成17年12月創業		
資本金	3,000千円	従業員数	7名
売上高	認定事業の売上高 25,436千円（累計）		

※平成24年12月31日現在

6. 認定事業の概要

テーマ名	体験型脳活性化を促す「からくりパズル」販売事業
テーマの概要	「小田原本製品」の一つである「からくり細工」の「ちょっと考える」という特長を活かして団塊世代の「遊びと若返り（健康）」というニーズに応え、小田原域内で開催する「からくりフェスタ、工作教室」等を通じて、大人が楽しめるからくりパズルを開発・販売する。
認定期間	平成20年4月1日～平成24年12月31日